

授業 コード	10804	科目名	イタリア語・イタリア文化(2)		担当者		西村 周浩			
		副題		開講期	後期	単位数	1	DP対応	3,K4	
【授業概要】										
「イタリア語・イタリア文化(1)」で学習した内容をさらに深め、より複雑な文法・会話表現に取り組みます。それにともない、イタリア語話者の考え方や価値観についても理解を深めていきます。										
【到達目標】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イタリア語の初級文法のおよそ残り半分を説明できる。</li> <li>・イタリアを旅行する際などに役立つ表現をさらに学び、読解などの言語運用に応用できる。</li> <li>・イタリア語の継続的な勉強を通じて、自文化と他の国の文化の考え方などの違いをより深く意識化できる。</li> </ul>										
【授業方法・計画】										
教科書にそって、ダイアログ、文法、練習問題の説明を行っていきます。										
第1回	導入、「イタリア語・イタリア文化(1)」で学習した内容の復習、Lezione 5(時間割;旅行の計画)文法説明(続き)									
第2回	Lezione 5 練習問題									
第3回	Lezione 6(電話で;再会)文法説明									
第4回	Lezione 6(電話で;再会)文法説明(続き)									
第5回	Lezione 6 練習問題									
第6回	これまでのまとめ、Lezione 7(明日の計画;素敵な一日)文法説明									
第7回	Lezione 7(明日の計画;素敵な一日)文法説明(続き)									
第8回	Lezione 7 練習問題									
第9回	Lezione 8(夕食のあとで;チェントロで)文法説明									
第10回	これまでのまとめ、Lezione 8(夕食のあとで;チェントロで)文法説明(続き)									
第11回	Lezione 8 練習問題									
第12回	Lezione 9(朝のパールで;告白)文法説明									
第13回	Lezione 9(朝のパールで;告白)文法説明(続き)									
第14回	これまでのまとめ									
【準備学習・復習】										
準備学習:教科書の文法説明等に目を通しておくことが望ましい。練習問題は宿題とするので、必ず行うように(100分)。復習:数回行う予定の小テストに対応できるよう、授業で扱った内容の見直し(100分)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
授業内で説明する。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
前期「イタリア語・イタリア文化(1)」を必ず履修するようにしてください。辞書等で単語の意味を調べる手間をいとわないように。また、教科書に付属のCDを積極的に利用してください。質問は授業時間終了後に教室でも受け付けます。										
成績評価方法	数回行う予定の小テスト90%、積極的な授業参加10%									
教科書	Juri Waguri(和栗珠里), Eri Nawate(暇絵里) 『Italiano più attivo! ピュ・アッティーヴォ!』(白水社、2013年)									
参考書	特になし									
CB0118	授業に関連する実務経験				なし					